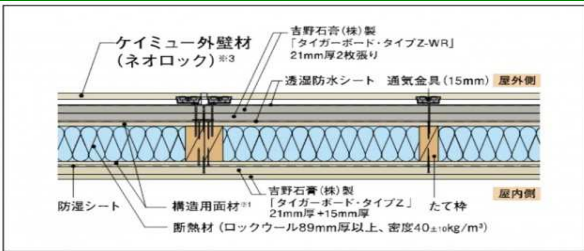




### ケイミュー、木造枠組向け外壁耐火構造を開発



「木造枠組み」下地 外壁耐火1時間構造(断面構成)

ケイミューは、木造枠組構造の耐火建築物において同社の窯業系サイディングが使える下地仕様を開発。このほど外壁耐火1時間構造の国土交通大臣個別認定を取得、4月から運用をスタートする。今回、大臣認定を取得した「木造枠組」下地は、屋外側に防水・防カビ性能をもつ21ミリ厚の強化石膏ボード(吉野石膏製「タイガーボード・タイプZ-WR」を2枚採用することで、壁の構成を簡略化し省施工+省資源を実現したもの。外装材には、高耐候で汚れにくい「ネオロック」を設定。豊富なバリエーションから選ぶことができる。

情報提供：新建ハウジング

### YKK AP、防火エリアの都市型住宅に最適なドアを拡充



※条件部の商品です。

YKK APは、住宅が密集する防火エリアの都市型住宅に最適な国土交通大臣認定防火設備のアイテムを拡充します。4月20日より「防火ドアGシリーズ」に「スライドドア」を、6月1日より「防火窓Gシリーズ」(アルミ樹脂複合、アルミ複層)に「スリット窓」をそれぞれ追加発売します。軽快な開閉動作を実現した上吊り機構の防火玄関スライドドア(片引戸)は、限られた敷地での設計の自由度を大きく高める、防火エリアの都市型住宅に最適な商品です。防火エリアとなる都市部では敷地面積が限られるため、道路際やガレージ内の玄関など、開きドアの開閉に必要なスペースが設けられない場合がありますが、スライドドアは外部側へ扉を開く必要がないため、玄関前のスペースが狭い住宅でも設置が可能です。また「防火窓 G シリーズ」

に、スリット窓を追加し、家一棟分の窓種ラインアップの充実を図ります。都市型住宅におけるデザイン性や防犯性、またプライバシーに配慮しながらの採光・通風等、幅広いニーズに対応します。

情報提供：YKKAP

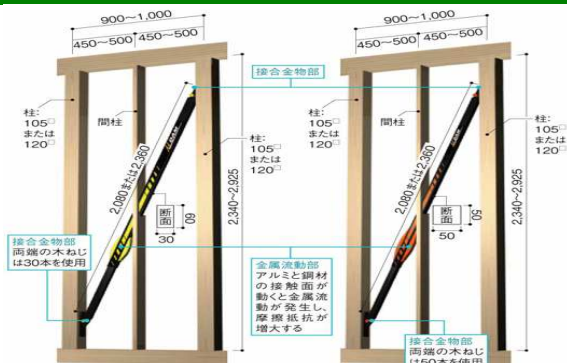
### LIXIL、エクステリア事業の新しい取り組み『NEXT EXTERIOR』をスタート



LIXIL は、新しい素材・構造・技術による商品開発と、新プロモーションにより、需要を喚起しエクステリア市場全体の拡大を目指す新しい取り組み「NEXT EXTERIOR」をスタートします。その第一弾として、ファサード(門まわり)ゾーンの新たな需要の喚起を目的に、乾式デザインウォール「手گران Neo」、デザイナーズパーツ「フラットアーチ/有孔ブロックウォール/スリットスクリーン」、エクステリアライト「美彩(Bisai)」の3シリーズ5商品を、2015年4月1日より全国発売します。LIXIL では、エクステリアに携わる方々と共に、日本の住宅の寂しいファサードを素敵な空間に変えていくことで、住まう人の幸せに貢献したいと考えています。新商品の提案にとどまらず、“交わる”“重ねる”“縁取る”“透かす”といったファサード空間づくりの新たなテクニックや植栽と照明などの組み合わせなど、エクステリア全体のトータルプランニングを提案していきます。

情報提供：LIXIL

### アイディールブレン、金属流動を利用した制震ダンパーを発売



アイディールブレンは、金属流動を利用した制震ダンパー「ミュードムR」を4月に発売する。地震による振動エネルギーを熱エネルギーに変換するもので、九州大学との共同開発で製品化された。弾性ダンパーと異なり、温度変化や速度変化の影響を受けず一定の性能を維持する。従来の筋交いを同製品に入れ替えると、揺れ幅が85%低減されるという。適用範囲は広範囲で、W900~1800mm、H2340~2925mmに対応している。同製品の目標壁倍率は2.2倍。秋に壁倍率5.0倍の「ミュードムS」の発売を予定。

情報提供：新建ハウジング